

提出年月日 8. 3. 13

受理年月日 8. 3. 13

陳情第37

石岡市の貴重な自主財源であるふるさと納税寄附金額を増額させるため、より効果的な施策を実施することを求める陳情

貴職には、スリムでスピーディーな石岡市、そして魅力的で活力溢れる石岡市をつくるためご尽力され誠にありがとうございます。

当市の財政担当部局からは、毎年、一般会計予算の財政推計が作成されておりますが、その財政推計一覧表みますと財政調整基金が令和14年度に枯渇してしまうという危機的な状況の予測が公表されております。

当市の自主財源は、市税、使用料、手数料、財産収入、寄附金となっております。

ふるさと納税制度は、現在、都会で暮らしているが、生まれ育ったふるさとを応援したいという思いで創設された制度です。

本県の令和6年度ふるさと納税寄附金額の状況をみると、境町が約60億円、大洗町約17億5千万円、八千代町約15億2千万円、茨城町約3億5千万円、当市は約1億円となっております。

令和6年度からは、市内の農産物生産者などへ寄附金返礼品提供の協力依頼を働きかけて、寄附金額の増額の実績を上げていますが、八千代町に比べると、寄附金額に大きな開きがあるのです。

石岡市一般会計の経常経費額は、年々増加していく傾向です。

是非、成功している自治体を視察して、調査・研究し、ふるさと納税寄附金額を増やす効果的な施策を実施され、石岡市に住んでいて良かった、今後も住み続けたいという幸福感を感じられるまちづくりを実施されるよう陳情いたします。

令和8年3月13日

石岡市議会議長 殿